## 大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2023年度)

				· •							
専門分野区	分	システム開発	卷	科目名	1	WEBサイトデキ	ザイン	Ŧ	4目コード	T2070B2	
配当期		前期	授	業実施形態		通常			単位数	2 単位	
担当教員	名	黒田 浩之	. 履	修グループ		2D(JT/I	KW)		授業方法	演習	
実務経験( 内容	<i></i>	数社のWEB制作会社でコーダー・フロントエンドエンジニア業務を経て、現在はフリーランスとして、企業や個人事業主を顧客に、サイト制作業務に従事。文書構造と保守性を重視した、高効率・低負荷なコーディングを信条としています。個人でもサイト制作にまつわる内容の講座を行っています。									
学習一般目	標	・HTMLとCSS、それぞれの関係性と連携の理解を深め、WEBサイトの基本レイアウト技法を実際の履修によって習得する。 ・レスポンシブデザインの制作体験を通して、現在のスタンダードになっている、マルチデバイス対応サイトの制作技法を習得する。									
授業の概 および学習 の助言		WEBサイトデザインはHTMLの構造とCSSのレイアウトによる設計への理解が必須です。 特に、レスポンシブデザインと呼ばれるレイアウトは、情報構築とデザインをしっかりと分離してイメージする必要があります。 また、チーム内のメンバーとの制作業務において、HTML, CSSに関するスキルはとても重宝します。講義を通して学習するだけではなく、わからないことや疑問に思ったことはネット検索や講師への質問を積極的に行って、反復を繰り返してしっかりと理解を深めてください。									
教科書およ 参 考 書		『HTML&CSSとWebデザインが 1冊できちんと身につく本』服部雄樹 著 その他適宜資料等使用									
履修に必要 予備知識・ 技能											
使用機器	ŧ	/—FPC									
使用ソフト	,	・テキストエディタ(Visual Studio Code) ・ブラウザ(Google Chrome)									
		学部DP(番号表記	E)			学生が到達	すべき行動目	目標			
		1	適切なH	適切なHTMLによる文章構造を組み立てることができる。							
学習到達目標		1	HTMLŁ	HTMLとCSSの関係性を理解している。							
		2	サイトの	サイトの目的のためにもHTMLやCSSを構築している。							
		4	cssica	CSSによるデザインレイアウト表現が的確か。							
		5 作品制作において自己の能力を十分に使用している。									
達成		評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表 (口頭•実技)	作品	ポートフォリ オ	その他	合計	
		1.知識•理解					80		20	100	
	_										
達 <u>成</u>	学	2.思考·判断					80		20	100	
達成度評価	ן ט	2.思考·判断 3.態度					80		20	100	
達成度評価	部										
達成度評価	部 D	3.態度					80		20	100	

評価の要点

評価方法	評価の実施方法と注意点
試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	授業ごとに作成したデータを提出してもらいます。 データの精度も評価の対象です。 ※とりあえず出した、中身がないデータは評価外
ポートフォリオ	
その他	

## 授業明細表

授業回数	学習内容	   授業の運営方法	学習課題(予習•復習)
第1回	作業環境の確認と構築 サイトのデザインの基礎知識		
第2回	HTMLの基本と書き方(1)		
第3回	HTMLの基本と書き方(3)		
第4回	CSSの基本と書き方(1)		
第5回	CSSの基本と書き方(2)		
第6回	レスポンシブデザインの基本と書き方(1)		
第7回	レスポンシブデザインの基本と書き方(2)		
第8回	フルスクリーンレイアウトを制作する(1)		
第9回	フルスクリーンレイアウトを制作する(2)		
第10回	フレックスボックスレイアウトを制作する(1)		
第11回	フレックスボックスレイアウトを制作する(2)		
第12回	シングルカラムページを制作する		
第13回	グリッドレイアウトページを制作する		
第14回	今までの授業内容の振り返りと続き	期間内でオンデマンド動 画を見ながら学習する。	オンデマンド動画を見て作成したデータを提出する。

第15回

サイト模写コーディング もしくは今までの授業内容の振り返りと続き こちらが用意したデザインに沿ってコーディングデータを作成。 詳細は時期が近づいたら告知します。

授業の進行度によって は、授業内容の振り返り と続きのためにオンデマ ンド動画による学習。

作成データの提出。 もしくは、オンデマンド動画を 日で作成したデータを提出する